

アスパルテームは現在の摂取レベルで  
安全性の懸念は無く、ADIの変更は必要なし

2013年12月10日、欧州食品安全機関(EFSA)からアスパルテームの安全性に関する見解が発表されました。

2013年までの全ての論文<sup>※</sup>を精査した結果、EFSAは、以下のような判断をしました。 ※2013年11月段階で入手可能なものを対象

<安全性>

- 脳腫瘍発生の科学的根拠なし。
- 遺伝子の損傷、がんを誘発するリスクなし。
- 脳、神経系への害や行動への影響なし。
- 疫学調査で腫瘍、アレルギー、早産などとの因果関係を認めず。
- アスパルテーム由来フェニルアラニンの胎児への影響なし。

※ADIにおいて

フェニルケトン尿症(PKU)患者様は、アスパルテームを含むフェニルアラニン摂取量の管理が必要です。

<代謝>

- 他の食品と同様に、アスパラギン酸とフェニルアラニンとメタノールに分解されて吸収される。
- アスパルテーム由来のメタノールは食品摂取や体内合成に由来する量の1-10%に相当する。

■ 詳細な情報・参考文献は以下をご覧ください。

EFSAのプレスリリースのURL (英文)

<http://www.efsa.europa.eu/en/press/news/131210.htm>

EFSAレポート (英文：全263ページ)

<http://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/doc/3496.pdf>

EFSAがアスパルテームのリスク評価に使用した科学的データ

<http://www.efsa.europa.eu/en/dataclosed/call/110601.htm>

～欧州食品安全機関(EFSA)とは?～

欧州連合(EU)のリスク管理機関である欧州委員会(EC)とは独立した専門のリスク評価機関として、2002年1月に設立(所在地：イタリア)、リスク評価を行う科学委員会と、9つの科学パネル(専門部会)が設置されています。

この件に関するお問合せは…

TCI「パルスweet」事務局

Tel : 03-3518-2395 (平日9:30-17:30)

Fax : 03-3291-0223

Mail : info@tci-palsweet.jp